

国際ロータリー第2770地区

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA MID-TOWN

Weekly Report

例会日 毎週火曜日 12:30~1:30
 例会場 山下工務店 大袋 GL2階
 事務局 〒343-0034 越谷市大竹686-3
 TEL 048-971-5320
 FAX 048-971-5370
 創立 平成2年5月22日

会長 山崎晶弘
 幹事 小池和義
 会報委員長 森紀二



第1061回 例会会報

- ・例会月日 平成24年8月7日(火)
- ・点鐘時間 12時30分
- ・例会場名 山下工務店 大袋GL2階
- ・齊唱RCソング 「君が代」「奉仕の理想」
- ・司会者名 仲文成副会長
- ・四つのテスト 森紀二職業奉仕委員長
- ・来訪者名 栗田晴巳様(越谷東RC会長)
- ・発行月日 平成24年8月21日(火)
- ・幹事 浜野隆浩様(" 幹事)

次月・次週インフォメーション

- 8/21 クラブフォーラム
- 8/28 通常例会
- 9/4 通常例会

会長挨拶

あと一週間もしますと67回目の終戦記念日を迎えますが、先日、私は家内と共にかつて海軍航空隊があった茨城県の阿見町を訪ねました。そこにある「雄翔館」には戦没者の遺品や遺書などが保存され、当時の様子を伺い知ることができます。国のために命を捧げた純真無垢な若者の御靈に強く心が痛みました。

昨今、会社説明会をしておりますと、8月15日という日を知らない学生がいることに驚いてしまうことがあります。書店では戦争に関連する様々な出版物が並んでいます。その中の一冊「失敗の本質」(ダイヤモンド社)で著者は、昭和15年頃からの推移と現在の日本の推移が極めてよく似ていると警鐘を鳴らしています。

日本はアジアの中では唯一、欧米列強から植民地化されなかった国で、日清・日露・第一次世界大戦と勝ち抜きました。世界最強の国といわれたロシアのバルチック艦隊を日本海海戦で撃破した日本は、大きな船と大きな大砲をもってすればどんな国にも勝てると戦艦大和を作りました。ところがレーダーや空母の時代に移った今、日本が戦争に負けてしまったのは資源や製造力の差ではなく、時代の読み方の誤りだったのではないかと書かれています。

良いことも悪いこともあります。特に良いこと、例えば自分が事業を始めて成長できたことは自分にとって極めて都合の良いことです。そのことも時代の変化の中で“いつか終わる”とられた方が良いのかもしれません。

戦後20年余りでGNP世界第2位にまでのぼりつめた日本でしたが、得意とする家電製品において大手メーカーがテレビの生産を中止することを決め、また携帯電話市場でも韓国メーカーが日本のメーカーを圧巻しつつあります。今までの日本流のやり方が、すでに通用しなくなっているのではないでしょうか。



山崎晶弘会長

ただ、その段階を引っ張ってきた人たちにとっては自分の成功事例が否定されることが、今後の自分の生き方に大きな影響を与えるため拒んでしまう、そういう風潮が現在の日本の停滞感を醸し出しているのではないかというふうに言われております。

幸いにも当クラブは上下の隔てがなく、過去にも今も派閥なるものが一切ありません。様々な事情により現在は15名で活動しておりますが、増強活動を進めながらフレキシブルな発想で会を盛り上げていきたいという思いを強くしております。今日も一日よろしくお願い致します。

幹事報告

小池和義幹事

1. 地区より「RI会長賞申請結果についての報告」がきます。〈残念ながら当クラブの受賞は叶いませんでした〉
2. 地区より「日韓親善会議記念 韓国3750地区・日本2770地区友好交流懇親会の案内」がきています。
日 時：9月1日(土) pm3:30 開会
場 所：品川プリンスホテル メインタワー22階
パンケットルーム(サファイア22)
3. 第38回越谷市民まつり実行委員会より「開催に伴う協賛の協力依頼」がきています。〈10/21(日)開催〉
4. 「2012-13年度新会員入会速報」がきています。
〈越谷1名、越谷南1名、越谷北1名、越谷東2名〉
5. 盛岡北RCから「私とロータリー 東日本大震災に対する世界からの支援」が送信されています。その中に2770地区からの支援に対する感謝の言葉が記されていますのでご覧ください。
6. エフエム越谷主催によるチャリティ公演(8/12)チケットご入用の方は会長、幹事までお願いします。

委員会報告

■IM 実行委員会からの報告

仲文成委員

過日IM実行委員会があり、当クラブは懇親係を担当することになりましたことをご報告します。国際食文化交流会と合わせ実行委員会を設けて打ち合わせをしたいと考えています。

8月の誕生日

おめでとうございます

山下良雄会員(18日誕生)

坪井明会員(20日誕生)

お客様の挨拶

皆さん、こんにちは。どこか他所へ行った雰囲気は全くしません。家へ帰ってきたような感じがしています。久しぶりに山崎会長のうなり節を楽しく聞かせていただきました。よく頑張っているなあと、いつも思っています。以前からパワーを持っている人で、リーダーシップがすごいと感じています。

今年会長を務めております栗田と幹事の浜野です。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。前年度は東クラブの25周年でしたが、その際にはたいへんお世話になりました。今年は周年行事がなく何をやってもいいと言われましたので、「入りて友愛 出でて奉仕」というテーマを掲げ、先ず最初にダンス教室を始めました。クラブの皆さんはダンスの機会があつても踊れないという方が多いため、それならやってみようということになりました。久伊豆神社宮司さんの奥さんが委員長で、神社の武道館をお借りしてダンス教室を始めました。また奉仕部門では、市内高校生を対象にした野球大会（11回目）を10月に予定しています。甲子園が終わって来年の選抜まで空いている中で、一年、二年がどこかで力を試したいというのがあって始まったのが越谷市内の高校生の野球大会なんです。また、昨年好評だった箸やお椀の持ち方講座パートⅡが高校生を対象に来年3月実施の予定です。今年もいろいろお世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

浜野隆浩様（越谷東 RC 幹事）



皆さん、こんにちは。越谷東RC 今年度幹事の浜野と申します。職業は東越谷で東京海上日動の代理店をしております。ロータリークラブは入会して11年目になりますが、あまり熱心ではないものですから中ロータリーさんを訪問するのは今日が初めてです。これから一生懸命勉強させていただきながら、また足を運ばせていただきたいと思っています。栗田会長と共に一年間がんばりますのでどうぞよろしくお願い致します。

卓 話

皆さん、こんにちは。終戦記念日が近づきましたが、会長も申しましたようにこの日を知らない若者がいると聞きます。鹿児島県の知覧町には特攻隊の資料を展示した会館があり、語り部から当時の様子を聞くこともできます。特攻隊といつてもまだ15~16歳の子供たち、皆「お母さん、助けて」と言いながら空に飛び立ったと言いますが、彼らが今の1億2000万人を支えてくれたのであり、アメリカの奴隸にならなくて済んだことが戦争で亡くなった方たちの思いだったので

栗田晴巳様（越谷東 RC 会長）



はないかと思っています。

私の出身地・霧島では敗戦したとき、女性と子供をアメリカ兵から守るために山奥に隠したと聞いています。山間の村でも敗戦後は大変な生活を強いられたようです。平和な時代に生まれた子供たちは、戦争で多くの尊い命が失われたことや特攻隊のことなど戦中戦後の日本がどれほど辛い状況にあったのか知っておく必要があると思いますし、我々はそういったことを末まで伝えていかなければならないと思います。

CLUB

2012-2013年度 国際ロータリー



さて、越谷地区で進められている大袋やレイクタウンなどの区画整理事業、これらは2028年までに終わる予定になっていますが、その後は福祉関連の事業が進められるようです。大人気のレイクタウンは、20年ほど前に元島村市長を見て回ったフランスにある水辺の街が原型になっていますが、その時に同行させていただいた懐かしい思い出があります。

余談になりますが、建設業界では東日本大震災以降、耐震関係の仕事が非常に多くなっています。私のところでは地震が来ても潰れない、70トンの重さにも耐えるという鉄骨シルターを作っております、それが間もなく完成します。

■スマイル報告

仲 文成副会長

- ・中クラブの皆様、こんにちは。今年度、一年間どうぞよろしくお願い致します。 栗田晴巳様
- ・一年間よろしくお願いします。 浜野隆浩様
- ・栗田会長、浜野幹事、ようこそお越しくださいました。 山崎晶弘

・越谷東 RC 栗田会長、浜野幹事、ようこそお越しくださいました。本日もよろしくお願い致します。 小池和義

・納涼同伴例会、楽しかったです。ありがとうございました。 仲 文成

・お客様、暑い中ようこそお越しくださいました。 武藤正雄
山下良雄、森 紀二 小計 8,000円

■出席報告

仲 文成副会長

会員数	出免除	出席数	欠席数	MU	出席率
14名	1名	6名	3名	4名	76.92%

ロータリーの友 8月号 RI会長メッセージから一部抜粋

8月はロータリーの会員増強および拡大月間です。会員を増やす鍵は、一人ひとりのロータリアンが、ロータリアンになって良かったと納得し、他の人たちに情熱を伝えることです。ロータリアンは謙虚で、自らが達成したことをひけらかしたりはしません。しかし、私たちは自らの信念と熱意を身近な人々、そして世界の人々に伝えていかなければなりません。ロータリアンなら誰しも、自分にとって特別な意味のある経験があるかと思います。このような経験を分かち合うことは非常に大切なことだと私は信じています。事実や数字だけでは、それ以上のことは相手に伝わりません。しかし、個人的体験は相手の心に訴え、友情を築く力があります。